

2022 年度休眠預金事業通常枠 “アウトリーチ手法による外国ルーツ住民の自立支援” プログラムにおける実行団体との契約の終了に関するご報告

当該プログラムにおいて資金分配団体である（公財）日本国際交流センター（以下、資金分配団体とする）は、2023 年に採択した実行団体ワールドフレンズ天草（以下、WFA とする）の活動をより促進するため、2024 年 9 月をもって資金提供契約を終了することとなりました。

■経緯

WFA は、就労経験・機会の提供や家庭内の問題などについての相談窓口・シェルターの運営、地域内の新規支援体制作りを通じて、熊本県天草地域に暮らす外国ルーツ住民に対する直接的な支援をするためのアウトリーチ体制の強化を目指してきました。

活動をスタートさせ、事業評価の視点から事業設計の点検・検証を行う中で、困難を抱える外国ルーツ住民に対して直接的な支援を提供する（直接的な介入を強化する）ことよりも、外国ルーツ住民を包摂する地域づくりとそのための交流の接点を維持拡大することが、同地で長期的な外国ルーツ住民支援を行うには有効であることが分かりました。

この結果を受け、資金分配団体と WFA とが協議を行い、直接裨益者^{ひえきしゃ}の変更など事業内容の大幅な変更が見込まれることから契約を終了することといたしました。

■今後について

引き続き WFA は、将来的な外国ルーツ住民の就労経験やコミュニケーションの場となるカフェの運営や、その場に集う地域の方々との交流促進を通じた活動を続けていきます。